

イノベーションの推進

昨今のデジタルテクノロジーの進化や超高齢社会の到来、消費構造の変化等の急激な外部環境の変化に対応していくために、住友生命では全社をあげて「イノベーションの推進」に取り組んでいます。

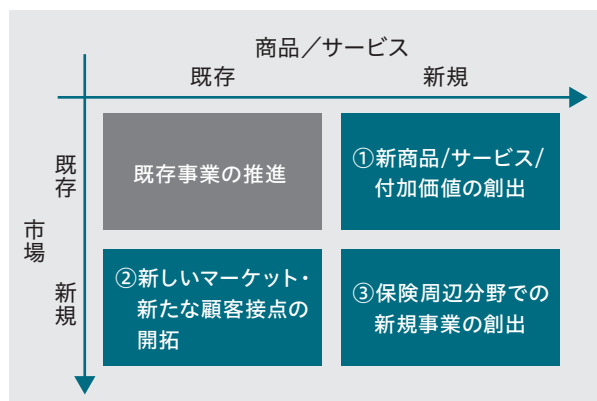
■ オープンイノベーションの推進

上記のような環境変化に伴って、昨今、X-tech^(※1)領域でのスタートアップ企業や社会課題解決を掲げる社会起業家による起業が活発化し、存在感を高めています。そうしたスタートアップ企業等とのオープンイノベーション^(※2)を推進し、「お客さま」「社会」「会社・職員」の新たな共有価値を創造(CSV)することを目指して、2019年4月に新規ビジネス企画部を設置しました。

新規ビジネス企画部を中心に関係各々が連携して、スタートアップ企業等との関係深化を図るとともに、オープンイノベーションを通じて、①保険×テクノロジー(AI/IOT/VR等)を活用した新商品/サービス/付加価値の創出、②新しいマーケットや新たな顧客接点の開拓、③保険周辺分野での新規事業の創出に取り組んでいます(下図①～③の領域)。

- ※1 Fin-tech、Health-techなど、「業界」×「technology(デジタル)」という形で既存の業界の商品・サービスを革新する動き。
- ※2 企業が社内資源のみに頼らず、他社や大学、公的研究機関、社会起業家など、広く社外から技術やアイデアを集めて組み合わせ、革新的なビジネスモデルや製品・サービスの創出へとつなげるイノベーションの方法論。

新規ビジネス企画の取組み

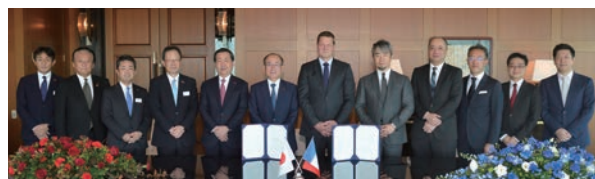


■ アクサ生命との提携による介護関連サービスの共同開発・共同利用に向けた取り組み

2018年10月、介護関連サービスの共同開発及び共同利用について、アクサ生命保険株式会社と業務提携を行うことに基本合意し、翌月、同提携に基づく共同プロジェクトチームの拠点として、また、理念を共有する企業が集えるオープンイノベーションの拠点として、「ウェルエイジング共創ラボ」を東京・大手町に開設しました。両社が培ってきたお互いの知見やノウハウを活用し、介護とその周辺領域に関するソリューションを持つ企業等との協働を試行しながら、介護分野における社会的課題の解決に積極的に取り組んでいきます。お客さまにはより安心して日々の生活をお過ごしいただけるように、介護関連ニーズに包括的に対応するより良いサービスプラットフォームを共同で構築していくことを目指していきます。

また、先進的な介護関連サービスの開発をより効果的かつ迅速に進めるため、介護関連サービス事業者との資本提携も進めており、両社による共同投資第一弾として、充実した高齢者施設情報やネットワーク、高い対面コンサルティング能力を持つ高齢者施設紹介事業者「株式会社 笑美面」と資本提携しました。

これらの超高齢社会における課題解決への取り組みを通じ、新しい顧客価値の提供を目指していきます。



Fintechの戦略的活用

■ スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボの取り組み

デジタル技術を活用したビジネスの変革により、お客さまに新しい経験や価値を提供していくため、革新的なビジネス・サービスをスピーディに創出していくことを目的として、2018年4月に「スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ」を東京と米国シリコンバレーに開設しました。

また、2018年7月に発売したVitalityプログラムにおいては、ウェアラブル・デバイスによって収集する運動データなどをビッグデータとして活用することで、新商品やサービスの開発につなげていくことを検討しています。

「スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ」では、最新テクノロジーの情報収集力向上と迅速な実証実験(Proof of Concept)の実施を通じ、他業態やICT企業など外部の知見も積極的に取り入れながら、お客さまの利便性の向上や社会課題の解決に繋がる新しいビジネス・サービスの創造に取り組んでいます。

国内においては、様々な企業と連携しながら実証実

験を進めている一方で、医療機関とのデータ連携など特定の事業分野に強みを持つスタートアップ企業や、VC^(※1)への戦略的な出資を行うことで、スタートアップ企業とのネットワーク構築や人材育成、事業創出プログラムへの参加を通じたデジタル・イノベーションの加速を図っています。

また、米国シリコンバレーにおいては、ベンチャー企業の育成・支援事業を営む「Plug&Play」^(※2)に加盟するとともに、子会社であるシメトラとも協業し、現地におけるネットワークの構築や最新技術に関する情報の収集を行っています。

※1 VC(venture capital:ベンチャーキャピタル)とは、事業会社や機関投資家から資金を集め、ベンチャー企業に投資をすることで、投資先企業の成長を支援し、資本収益の獲得を目的とした機関です。

※2 Plug&Playとは、米国シリコンバレーに本部があるベンチャー企業の支援企業で、ベンチャー企業向けの育成プログラム(アクセラレータ・プログラム)を開催し、大学・研究機関、各業界の先進的な企業、投資家など幅広いネットワークを保持しています。



Plug&Play(シリコンバレー)



FINOLAB(東京)

IT(情報技術)の活用

住友生命では中期経営計画に基づいた中期システム化計画を策定し、取り組み分野ごとに常に先進的なIT(情報技術)を取り入れ、お客さまサービスの更なる高度化に取り組んでいます。昨年度からはスミセイライフデザイナー(営業職員)用タブレット型端末によるお申込み手続きの電子化、ウェアラブルデバイスから取得される運動データ等を活用したVitalityプログラム(健康増進型保険)などの提供を開始しており、今後もコールセンターシステムのレベルアップや保全手続きの電子化といったお客さま接点チャネルを中心とした

利便性の向上など、順次効果的なシステム構築を推進してまいります。日々進化するサイバー攻撃に対しては、「SUMISEI-CSIRT」を構築し、迅速かつ的確な対応を行う態勢を整えています。また、住友生命グループ全体のセキュリティレベルの標準化や安定的なシステム維持態勢の整備を目的として、子会社・財団等が利用するメールシステム等を共通利用するためのクラウドサービスを構築・導入し、グループ全体でのリスク管理強化にも努めています。